

農林水産もの知り百科

東京の農林水産業に関する活動や、旬のトピックスを紹介。身近なところに新しい魅力を発見できるかも！



地元野菜を使った親子料理教室（写真上）。11月に堺支店で実施したアイコン収穫体験（写真下）

町田市の農業を応援する取り組みとして、地産地消サポーター制度がスタートしたのは、2017年10月のこと。旬の野菜の販売情報をいち早くキャッチできるほか、親子で参加でき

農業
「都市にこそ農」が合言葉
JA町田市地産地消サポーター制度



新嘗祭では野菜宝舟を製作し奉納（写真右）。町田市役所で7・12月に野菜即売会を開催（写真左）



春と秋に直売所の野菜が少なくなる時期に歯止めをかけるべく、研究事業に乗り出したのが町田市内の農業者で構成するJA町田市青壮年部会。2014年から「秋どり枝豆」や「春大根」「盛夏期どりきゅうり」の栽培の研究を進め、2017年には猛暑期のキャベツ栽培に関する研究成果が、東京都農林水産技術交換大会で最優秀賞を受賞した。生産者は収益向上につながり、消費者は地産地の野菜が安定して手に入るといううれしい成果をもたらしている。野菜即売会の開催など、町田市の農業を盛り上げる活動にも積極的に取り組んでいる。

農業
いつでも旬の野菜を！
JA町田市青壮年部会の活動



網に入った魚の中から稚アユだけを選別

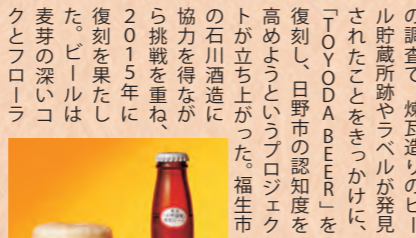


野菜や卵など町田市の農産物が並ぶ「町田市日曜朝市」。「まち☆ベジ」ののぼり旗が目印だ

「まちだけ」農業情報専用ページ
Web <http://machidake.com/machibeji/>

地元野菜がひと目でわかるマークがあったら、積極的に手にとってみたくありませんか。町田市が地産地消推進のために、安全に生産された町田市産農産物につけたネーミングが「まち☆ベジ」。赤と緑の色鮮やかな、まち☆ベジマークは、新鮮・安全・安心の目印だ。まち☆ベジは、市内に5カ所あるJA町田市の直売所アグリハウスのほか、市内で開催される「まち☆ベジ市」や「町田市日曜朝市」

農業
町田市産農産物シンボルマーク「まち☆ベジ」に注目



TOYODA BEER ●とよだびーる
Web <http://toyoda-beer.tokyo>

多摩地域最古のビールを復活プロジェクトとは
明治19年（1886）、日野市豊田地区には多摩地域最古のビール工場があった。平成25年度の発掘調査と蔵の調査で、煉瓦造りのビール貯蔵所跡やラベルが発見されたことをきっかけに、「TOYODA BEER」を復活し、日野市の認知度を高めようというプロジェクトが立ち上がった。福生市の石川酒造に協力を得ながら挑戦を重ね、2015年に復刻を果たした。ビールは麦芽の深いコクとフローラ

農業
多摩地域最古のビールを復活プロジェクトとは

水産業
多摩川を遡上する稚アユを上流へ移す「ワープ大作戦」
東京湾から遡上する「江戸前アユ」は毎年3月下旬〜6月上旬に見られ、稚アユの体長は5cmほど。東京都島しょ農林水産総合センターのアユ遡上調査によると、2018年の遡上数は994万尾と推定され、調査開始以降2番目に多かった。遡上する稚アユの難関は堰やダムで、魚道が設けられているものの、登りき

元気に泳ぐ稚アユ。2018年は12万5000尾を捕獲した

れないアユも多い。そこで多摩川漁業協同組合では、流域の関係漁協とともに、中流で稚アユを捕獲し、上流に運ぶ「アユの汲み上げ放流事業」を2017年から行っている。4月下旬から多摩川中流に定置網をしかけ、網に入った魚を生け簀に入れ、稚アユのみを選別し一尾ずつ数えるという地道な作業には驚きだ。「アユ」だけを確実に上流の漁協へ引き取ってもらいたいので手は抜けない」と組合長は話す。汲み上げたアユは上流の河川漁協にバトンタッチし、多摩川上流で放流される。

まだある！ 地元産食材にこだわる レストラン＆カフェ

南多摩エリアにあるレストラン＆カフェの自慢は、地元の新鮮な旬の野菜をたっぷり使うこと。低農業に取り組む農家とタッグを組んで、元気になれるメニューを提供するレストランも！



八王子市の農産物を使ったスイーツが人気
「マドレーヌ大和」230円と「くま de れーぬ」1個180円。いずれも八王子市産の米粉を使用している

八王子市
パール・ノエルみなみ野店

●ペー・のえるみなみのてん
八王子市産の素材でつくるブルーベリージャムやカボチャプリン、スイートポテトなどが揃う洋菓子店。イートインも可能。
☎042-632-0214
●八王子市西片倉3-11-5 ●JR八王子みなみ野駅(JH30)から徒歩5分 ●9時30分～20時 ●無休 ●11台



野菜が苦手な子どもでも食べられるメニューの数々
地産のタマネギやダイコン、キャベツ、白菜などが入った「稲城の太鼓判」認証の「オルトラナーのナポリタン」1000円

稲城市
ORTOLANA

●おとらーな
地産産の低農業で新鮮な野菜を使用したメニューは幅広い世代に好評。「ピクルス」500円、「海老と新ジャガのアヒージョ」900円も人気。
☎042-407-5659
●稲城市大丸965 ●JR南多摩駅(UN19)から徒歩2分 ●11～15時、17時30分～21時(土・日曜、祝日は11時30分～) ●火曜、ほか不定休あり ●2台



素朴な味わいでたっぷり野菜がとれる
看板メニューは日替わりの「選之介弁当」560円。売切れることも多いので、お早めに

日野市
日野市民食堂ベル・ハート

●ひのしみんしょくどうべる はーと
日野市産の旬の野菜を使う「選之介弁当」は、1日の摂取量として推奨される野菜の約1/3がまかなえる。「日替わり定食」510円もおすすり。
☎042-585-2238
●日野市神明1-12-1 日野市役所内 ●JR日野駅(JC20)から徒歩15分 ●10～17時(食事は11時～) ●土・日曜、祝日 ●日野市役所駐車場利用



直営農場の地場野菜を中心とした安心な食材を
平日ランチの看板メニュー「花籠御膳」1780円。新鮮野菜や刺身などバラエティ豊か

多摩市
畑 de きっちゃん

●はたけできっちゃん
直営農場「夢畑」の新鮮な野菜をメインに安全・安心な食材を使用。お得な週替わりランチは2種類揃い各880円。野菜は店頭でも販売している。
☎042-400-0915
●多摩市落合1-46-1 コロリア多摩センター6階 ●京王・小田急多摩センター駅(KO41-OT06)から徒歩5分 ●11～22時(21時LO) ●コロリア多摩センター休館日 ●コロリア多摩センター駐車場利用



日野市産をメインに多彩な野菜を使った料理を
「10種の野菜トマトソースパスタ」1100円。具材の野菜は旬の季節により異なる

日野市
グリーンオアシスカフェ 042

●グリーンおあしつかふえざるよんに
JA東京みなみの直売所に併設するカフェレストラン。日野市、稲城市、多摩市の新鮮野菜をふんだんに使った、イタリアンテイストの食事をカジュアルに楽しめる。
☎042-843-4038
●日野市万願寺6-31 JA直売所「みなみの恵み(→P13)」併設 ●多摩モノレール万願寺駅(TT08)から徒歩15分 ●10～21時(20時LO) ●水曜 ●JA直売所「みなみの恵み」駐車場利用



たっぷり野菜の窯焼きピザを堪能しよう
「町田市産のプロッコリーとプチトマトのモッツアレラチーズピッツァ」はサラダバイキングとワンドリンク付きで1026円

町田市
チャオベッラ

●ちゃおべつら
町田市産の野菜を積極的に使用したカジュアルイタリアン。窯焼きの本格ナポリピッツァと茹であげパスタ各種1026円が好評。
☎042-724-6430
●町田市原町田4-4-2 昌興ビル地下1階 ●JR・小田急町田駅(JH23-OH27)から徒歩4分 ●11時30分～15時、17～23時 ●無休 ●なし

